

農地の集積を進め、飼料作物を収益の柱としている担い手組織 (栃木県 (株) アグリ那須烏山)

経緯

- ◆ 一般財団法人那須烏山市農業公社が、担い手不足対策として、地域の受け皿となる株式会社アグリ那須烏山を設立(平成29年)。
- ◆ 地域の担い手組織として、農地バンクを通じ、農地の集積を進めるとともに、収益事業は、飼料作物の生産・販売が中心となっている。

<主要品目の作付面積>

| 品目 | R6 面積 | R7 面積 |
|-----------|--------|--------|
| 水稲 (主食用米) | 0.6ha | 8.0ha |
| 水稲 (飼料用米) | 7.9ha | - |
| WCS用稲 | 34.0ha | 43.3ha |
| 青刈りとうもろこし | 3.8ha | 5.4ha |

※他に作業を受託 (水稲、麦、大豆等)

飼料の生産・取引状況

- ◆ 播種、栽培管理、収穫・調製、配送を一貫して実施。
- ◆ 青刈りとうもろこしは8月下旬、WCS用稲は9月下旬～10月中旬にかけて収穫。ロールは長期保管を考慮し、8層巻で調製。
- ◆ 地元酪農協経由での注文が大半を占める。
- ◆ 製品にクレームがあった場合、次年度納品の際に製品の上乗せすることで対応している。

課題への対応など

- ◆ 収入保険に加入しており、収入が減少した際の備えをしている。
- ◆ 農地の集約化を進め、連担化し、作業の効率化を図っている。
- ◆ 今後も離農等により、農地所有者からの耕作依頼が増加していくことを想定している。

